数年前選西省における治線についてゐる、耐して李、白南氏の過去

光明は特性的態度を執るに決定し

ては中央も十分認めてをり、雨氏

の下野を製水することは省域に急

の自城作用を促さんとする方針を

るに決した、よつて置西側が積

に無臓的態度に出ない限り中

る副南、貴州、霊墳各省の中央 急ぐことなく廣東の中央化を促

廣西軍が中央に對し

一次第に入り込んだ原紹園氏麾下の一種形に座する宣観表した

と通常した、全朝来東江方面から

安民の市街を観し、荷安崎野春を

従に達伏するに至り、アルゼシラ ゼシラスにおける政府軍は選に振 り時間の牧拾に當られたい の業間と認兵司令部は十九日正年 の実間と認兵司令部は十九日正年 の実際と認兵司令部は十九日正年 を変えて、そくぎし、作れ寺寺寺寺

舞踊出は一面に塗したが、原派

序維持に當つてゐる、政府から派

叛風軍の措施能に全領土の秩

銀の贏中に投せられるに至った るが自動車には生々しい頭段を開始し、今や登ス・インも脳 食の寒米人も自動料で避難してゐる。 多願して思も踏踏との間に試験な職 ヴブラルタルに接続してゐる。 多

てゐる

コ將軍はメリリアに革命本部を設

から動鍵したスペイン酸モロッコ

【デバタ十九日同盟】十八日末期 | 叛徒は除戮をかつて對陸アルゼシ | 軽へ遊的の軽減を厳にするやら命

全西班牙も優闘の禍中へ!·

一方電影セラビリア、北部ベルセ を出したと言はれるにない。インマラスに水管艇を重選し同市も抜車、今した、範囲するにないていません。 を出したと言はれるにないインマラー

机戦的態度を持續

しかし陳氏の轍を踏む外なく

没落は時間の問題

ると共に一先づ脳西省を包閣

激なる数化を與へる排策なりとし

行覧大の態度を以て選まんとし

指らず四四年は中央に對して抗戦

その越場肌夜鑑東軍の和戦如何に

| 萬の中央軍に襲し李白爾氏如何に「唯時間の職跡と見られるに至つた||州、湖南、原東方面に迫れる三十|| 轍を踏む外なく、その認善は今や| 一郎となったが、何れよりするもは、重ありとするも結局は陳辞祭氏の

館モロッコに向け避難を開始したら十九日午前にかけ市民は殆ど帰

西班牙政府

無根と發表

掲するところとなり、十八日夜か 領モロツコは今や完全に叛使の席

州、湖南、近東方面に迫れる三十

宫

中して米た月節は、李宗に軍と臨り西軍が超々盟東市内を目指して郷

廣東入城の豫定

兩廣の連絡斷絕す

に接し、十九日敷回に亘りラヂオ殿府は各地に於ける叛命縣地の報

領御用邸に御戒りのため二【東京治話】義召様には帰

るもので、一方榁椒方面より一颗 力し

原東省第三線を

死守せんと

す

を遮断し度中一般、脂斑を染せん「氏は直にその善後跛につき腳鄙し」し、鷹東軍の銃略に含る誇であるに湖南省南部地獄の中央軍の後方「流撃氏の下野血舌に撲した完武器「軍七萬を諸脇萬州鑑道路線に配密をあめて、一方程林方面より一線」「選果十九日同盟」十八日説史線「に削離器推卸部を帰避せしめ中央」

これに次いで強緩、全就震車に二一統部被事域は十九日間気せられば、店所逃を続じた、第一第二兩部は「職能は職総した形で、第四郷職事と結果、炎徳一帶の區東軍第二軍「尚予試し氏の難粤により區東區西

されてゐたが、目下の所中央は直 型する態度は各方面から解る社目【南京十九日同盟】中央の盟西に

廣東諸將領余氏に

【臨泉十九日同盟】孤述、黄任寮 時局收拾方を通電 石氏の宿望たる金支那統一への一飛躍であるかどうか、軍部方面の對西南欧路は単は遊した如くであるが、果してこのことが新介

への一飛躍であるかどうか、軍部方面

といふにあり、これを要するに蔣介石政権が部軍閥にも劣る悪政

【東京電話】陳清紫氏以下西南派勢力の一度に推折し、蔣介石氏

では断政権今後の根勢に関連し大権左の加き観測を下してある

南介 石政権の温味はその中央政権としての極勢を握つて

蔣介石政権の

今後に對して事が方面の

REAを加し、育飲練求を事とし際に大会を加速しておるがは、有飲練求を事とし際に大会を知識した知識なる西瓦藤前の知証と組得る電池の団尾線が常初結唱した空湖なる西瓦藤前の知証と組得る電池の相違あるみならず 同時に海軍的攻撃のための民衆煽動政治の成果は、政治

射殺さる

八はいまだ不明

純重大化に隠しプランスとスペイ ベリ十九日同盟 スペインの 國際鐵道遮斷さる西班牙と佛國間の

概されその塩に配倒、一時間にしかのために背後よりピストルで狙 烈の嫌疑節附近を通行中、何もの と經命した、急報に接した青島語 青島二十日同盟1 医活沿線坊子

朋嬢の運命を辿らん

の業成るも

現在の國民黨は舊軍閥以上の惡政!

場に急行した、犯人は未た不明で 日午後一時半杉村鐵事事務取扱及 領事能誘察より質地協議のため同 が永川巡査部長、関師等を従

あつた本版石田鐵山路長は十九日

今7回の會。 議を関中興財を 【北平東日間盟】石友三氏は世日 一方四の會。 議を関中興財を 【北平東日間盟】石友三氏は世日 意いたのは産金増加方法、郷山 正午裏総総勝憲は長末郡元以と総 行政機構改革で、華レく会へぼ「起、政務委成就位を正式要器した

「南京十九日問題」歴山に飛んだ 蔣氏が西南 央化を講ず

現に赴き中央の威信を示すものと 深配を振ってゐるが、一緒阿娥に
新介石氏は常地で西南殿跡につき じてゐる、一段落を待つて自ら贤 西南の中央化を闘るため制策を勝

務委員受諾

昨日午後に至り

全上を所能

心蔵万針その他下打合せのため來 ||十二||日内務省 (都合によつて

具體的協議を行ふこととなったが 選挙制度改革に封する本都管制に

を一新、選舉界の明明問定を則す 過去の過程で提覧した国际なるが 選挙法の煩餓、難解の點を是正し

内閣の後を承け十九日成立したマ ルチスパイザオ内閣は事態收拾不

【マドリー十九日同盟】オパルー

西班牙後繼內閣

可能と見て直ちに辭表を提出、

組織した 【東京電話】まる特別語館の公訂一 月末初顔合せ

封鎖したが、既に同他にはスペイー命の重大化に鑑み、萬一の場合イ

叛徒が席捲

ホイルド、スワンの二数に武装を期するため十九日驅逐艦ホワイト ギリスの癒金振艇に萬遺憾なさを

ルタル、イギリス官談は関環を

【ジブラルタル十九日同盟】ジブ

選擧制度

革命重大化

書問題に就いて営局と各所票 本能級許を行ふため過酸放立を見足を告げてゐる。 鐵業確認可 一に基いて政府は現行選聯部医の根係問題とも多忙を極め人員の一に基いて政府は現行選聯部医の根 ることに決定した、依つてこれが 磐脈度の全面的影革につき鍛漆す | 革新の銀銭をなす「緊緊の要称であ | (本月下旬頃初頭合せの第一回

成職に法規整備機制設置は計法部間にし計法関策なる計法職員の自

るから、極力當局を聴援してその

た物は何だ。

「なんだつ、今、ふところへ配し

質垢を期すことに意見一致を見た

胸を抱いて、彼女は味んでしま

一致名は二十日臨日首相、勝沼、

突端前の永井駐車長、災闘を改 | 越次官初め闘林、誕信、陸軍、海|

とを云ふ、 査貿長等を賦筋左の狭隘文を手交 中、司法各大臣·**政**鼠兩篇**跋**称調

に配し、司法革新の一端として 提案は本曾の県等し來れる主張 提案は本曾の県等し來れる主張 決 議

善後處置

残る今後の問題

で 資料 を検討して作成した調査 ない、若し廃近が直旋チェとして 資料 を検討して作成した調査 ない、若し廃近が直旋手を検討して作成した調査 ない、若し廃近が直旋手を検討して作成した調査 ない、若し廃近が直旋伸出として 資料 を検討して作成した調査 ない、若し廃近が直旋伸出として 資料 を検討して作成した調査 ない、若し廃近が直旋伸出として 資料 設落となり、経る問題は金銭県氏 統一のためどの程度まで環東軍をによる普後處置と新介石氏が軍艦 「上海十九日同盟」陳濟紫氏の

◆宇佐美鐵路總局長 廿日人城明

|陣内利夫氏 (原資局 京城支局 鮮ホテル

さらた、謎にいへば慢先置を持 四五の國策に優先職を興へる 天地支黃

| オリンピック迫り、水上陣球| てめえば、強叉を交してゐるのだ。| オリンピック迫り、水上陣球| このえば、強叉を交してゐるのだ。 四方八方からの徴成ぜめにあつ 義務教育延長は豊富だけでは

後任には見島、佐伯氏らが有力

時期は豫算編成後の九月頃

本府第三次異動は知事級に一名の一るが、期日は重算遺成後の九月と一度決定は、脱重研究を進めてゐる 思はれずの促進によつて解決するものとは が、節に曾建る複級藍に電化記録 が市内に悪人れてゐるのは扫當別東回數の極めて多い私政證道京城都市計畫の將來に鑑みて、 ある、赤信既に立番さしてのう 特急列戦に叩き起された騒が一

鐵道局の態度

して居やがるのだらら

|良人のことばを、促めしく思つ||のやらに吊り上つ いるあまりといへば、 あ うに孤つてゐるのであつた。 と、自外の三つに淑を呼ばつたや と、自外の三つに淑を呼ばつたや 酒と、職徳

つ。おれにはちゃんと鴨ってゐ 「とんでもない……そんな物では」「え」、今更、関ノ

「どうだ、おれの配にくるひはあ」て、物げた。 『えつ?』

たの変のやさしい簡も、奇役して 一様ぐ小戦も、みなその和介にむす アレドとい 阿女めが



水・王題・音樂藤井夏人南海の乙女落部・池田さぶろ南海の乙女落部・池田さぶろった。

お吉の野の毛 の 計

^{興壯}號月/

金に態度の決定を見ることは困臓る回避も伏在してゐる複綴で、早 世段高原へ

垣總督

八月潘京號

花治 11人 畫作 (188)

紙のやうに白くなつてしまった。 「出せつ、今見てゐた物を見せろ 良人の敏鋭を浴びて、お吉は、 やがあつたなつ。... てゐやがれつ、うぬも、 やがあつたなつ。.....ウ、ムー見「よくも.....男のつらに泥を塗り 和介の野

世のほぼである。
一十日夜出設、約二週间都出版。

司法國策の實現を

どん――とお吉を一つ健放してお く盛り上つてゐる魔 いて、平次即は、野 へ隠けこんで

である 贈ぎ流 まし た大手斧だつ 握り上げたのは、

あたが、さては、隠し男をこしら したか知らなかつた。 一 したか知らなかつた。 楔の陰へ、 お吉は、自分の身を何らうごか 振り下ろした字斧の刃は、その機 ---キャッ

がやさしすぎるわいと壁に思って 頃、おれに向つて、てめえの様子「はゝあ、讃めた。どうもこの

へてゐやがるな」

「まつ、淤組もない」

統は蜘蛛の巣の 覚者 書中 湖子のア

革

雨のつとときい題 スエステ 風 島(北)

小說 牧北藤那山北淺堀伊 柳岡吉小林浦須崎村原口馬原 井夜透 辰 壽六大狼 壽六大

本レナーデの好き吸(小説) 一次 明 け(讃字歌)… 夜 明 け(讃字歌)… 夜 明 け(讃字歌)… 夜 明 け(讃字歌)… 焳 子蘿勇子馬洲造斌夫朗學

大送。定

詹姆料證價

途中帯山で一泊、廿五日午後三 「ど、どうしてそんな、大それた。途中帯山で一泊、廿五日午後三 「ど、どうしてそんな、大それた。

「おやあ見せろ。——見せられめ えが、それは、男から來た婚文に

いひまずか

を、大きく二振り一 手腕の光は、せ

身はねるない

明月にぶつかつ 振り、風を断 まい土間の中 かつた、機に

部の荒い足にベリベリッと踏み破れて 女の禮をまろばせて、次に、平次 外へ、どんと信れた雨戸は、彼

--- あれッ、どなたか、どなた

æ t≅

- 平次即は、猜疑の鬼になってゐ か、來て <ださい

びながら、お吉 何もか

・ 予算 まは 別が 変形を占めて ある。 一の 選出と 内肌 変防 駅の 服用 を 要め | 一段 | ファーミ に 要却 升太 即 南氏 その 他 光 原 なほ 七月 一日から 十九日 までの 傳 て みる | 一切 と 1 | ファーミ 1 ファーミ 1 | ファ

最近の傳染病患者の六割は赤痢

京城府官民協力して防疫

赤痢激增

決議をなし同志に呼びかけて従来「契係附究賦三百旅名は月下滅刑合二部額の豺鍵を離唐文郎不出詔の「第三回至園大學校門製技婦刑於超

●類製品「かをり」に就ての御懇」道所管の中等戦校は八月一院まで●新製品「かをり」に就ての御懇」道所管の中等戦校は八月一院まで

行の朝鮮内の視察日程決定

| 養種たばこの小角意性に軽ての | が休暇、 | 夢にまで描いてあた数々

地を視察中であるが、來る八月十

結び征野洋路陣のため気を吐いて

文膜と抗事を続けんとしてゐる の不出品同盟に代るべき新同盟を

風

の初登場

けふ土用入りのお天氣模様

の削哨職の様なもの、これから愈 い語いと云つても今までは提納。「仁用電話」今廿日上り土用人り

文形方面に漁路を取つてみるので「春瓜コ十郎名は銀過級低後過鬱鰻」に乗、十九日午間上時年歳化慢興・今年底初の動風が高米島にあるが「磐層紅米を批目されてゐたが質行

日仁川水原蔵祭、十五日登山谷の計・日代川水原蔵祭、十五日登山谷の神・成興、十二日成興の新。平より清津・成興、十二日成興の新。平より清津・成興・十二日成興の新。中は、中国、中国、中国、中国、中国、中国、中国

紀して居る

長は果大今井登志喜教授である

る外間局機闘誌『野鹿の朝鮮』九

子供二人溺死

月號に掲載の接定であるが、

本大學工學部長佐野利語氏、削融一つたこの問答は事跡差別類似とす

祭するはずである。なほ際長は日 日崎們提出、左の日程で鮮内を規

して愛煙家方面へ蹴動の巻へを吹の四項目について特徴はがきを出

はせてみる

のプランに小場のやらに胸を立る

をなし源識の結果文服支持に低い一郎上下面朝鮮石炭工業株式質能制

發展の 北鮮方面に

れその場段部館の意見型五十九日

簡潔地獄を得つわけだ、土服の

| 耐は御水知の通り依然初年よりの話の地朝鮮には開保はないと観測所

三、四ミリク、温度に付金な。 で、廿一日仁川では廿一度、次 山上八度に城井度大郎井一度、初 山上八度に城井度大郎井一度、初 山上八度、元山廿二度、二分、 東京 中二度、元山廿二度、二分、 東京

一十一月個から八月二十日まで

齊に銀行されるが、第一日は午間 六時富永県発局長の開館の群があ 供例午則六時から三十分間全郎一

のと見られてふるが点状では一般 たのでその人践も「百萬に及るも たのでその人践も「百萬に及るも たのでその人践も「百萬に及るも 持から上野内突射道気に関かれ のであるが、単独のと野内突射道気に関かれ のであるが、単独のと野内突射道気に関かれ のと見られてふるが点状では一般 たのでをの人践も「百萬に及るも 特から上野内突射道気に関かれ

融煙草について一般の人々の嗜好│▲あなたの日常御獲用のおたばこ

▲あなたの関係求異への御角宝は「日まで、中華壁板は同十九日まで」

つた、初等慰校は八月二十 | ら午後四時まで開闢、館場は高等を貰つて飛ぶすらに家へ縁 | 日から廿七日まで復日午服八時か

|現役職業科解的的 (木工)を仕一

夏休暇に入り京城府学体器では小

と別の各方式を行いるという数等収収、中等

・ 初等原校、中等 ・ 分等はい理様な、中等 ・ のがはい理様ない

生橋的近の淡江上流で行水中溺れ

(デンの二人はうだる提続の当め版)

在羽氏姫真姫さんことが男さん

日午後七時頃京城府外院肚里

一十七日仁川署に連帰された

お母さん御用心の事

約一萬五千人急用

以報の如く國民保健の上から**低年**

洋畵車

文展問題で

一百餘ヶ所で

あすから始る 五千の不足となり、成北では軽旋 展に伴ひ即方面の労働者は推応し 西北部の諸隣工業産業の精進行政 約一萬からの不足を

近野水の一割五分約二、三千を波 | 可能なことで収売期を終へる九月 ることに目下非郎をしてある 労働者を移 すこれだけの 方を本所能館跳に依頼して来たが

産財博は無罪

ける尚州事件の最後判決

すことは不

に決定せん

通識生食症環境(ど)外色質論は、 事主でひて高等は水が神経で開経の高端を提供してゐた點北角州の 国で上語中であつたが甘日午旬十旬書院被乗機によるた點北角州の 国で上語中であつたが甘日午旬十旬事院被事物として発生船に成多 4 大戦で 無罪となり 機算削の不

時の奴奠に供する物を貼したる「罪に落著して大黥囲となつた刑法第百八十五條但書の所謂一」と上書戦却の戦決あり、こゝに無 刑法第百八十五條但書の所謂一

事立等ひで盛雪は党公神空で開空一時半から雰囲起物長後、山高傲

・ すに影響が無明し、えものに非ざい 正常で原判決には略も事實誤認の の疑めることなし の疑めることなし

専門スリ

經過如列聯が三時、赤山間で線路十九日午後十一時卅五分號、福密

称路 にねる

に提臥してゐた朝鮮人男を翻設し

の関北の風影くる送もあれて、海の風影とは、一般の風影という。

南 の風弱く 右向

ځ

李祖族上名

温度の風よると明まると明まると明

れば原籍が無罪と言渡したるは、相當とす従つて被告人等の所為相當とす従って被告人等の所為

ック環境衰退組合せは十九日經改【ベルリン十九日紀盟】オリンビ

シュパンダウ六……四 日本 戦でスエーデンに當りこれに對て

スェーデン

英國首席委員《日本支持

「ロンドン十九日間電景能員鑑」 勿論得前職委員に関してもイギー日本大学。 「ロンドン十九日間電景能員鑑」 勿論得前職委員に関してもイギー日本に有利なる情報期向りなるもの 「ギウチーム二回職を発行、即三六 「ロンドン十九日間電景能員鑑」 勿論得前職委員に関してもイギー日本に有利なる情報期向りなるもの 「ギウチーム二回職を挙行、即三六九男大で再び取れた 勝者に答ると、なるがイダリーは に回戦でイダリー、アメリカの されたが石によると日本は第一回

ヨーロッパでは定許ある強チーム

スの大倉申込みに翌る經路を約二十オリンピック委員に勤しても日本 ークホテルに副島和を訪問イギリ ドア・デヤア胴は十九日ハイドパ 度美明の結果語らく他のイギリスバー・デヤア胴は十九日ハイドパ と変明の結果語らく他のイギリス

に有利な影響を與べるべく影測さ

代表は十九日ベルリンでシュパン

れ、彼はアバー・デヤア剛と同感

止めを行つたが、大勝は如何とも 選に割し日本支持を申出でた日述

第三國の第十二四大館的数階級に リモウスに対ししたが、目、疑、 ンリー氏は十九川アメリカよりブ

その不合理を耽いて申込み引

いてはイギリス委成は今回の歯

にオリンピック委成的女婿斯龍へ度に出るものと見られて居る、な

商業美術寫眞展

京城本町一丁目鐘紡(一階)に開 **T八日より廿三日まで!來り見よ**

1

たもので、今日に至って見ると、なし郷く、途に今回の結果となっ

イギリスは先づ問題になるまいつき宝」がの記述は耶確定的である、つき宝」がの記者に左の姐く離る

れも研能葛城の音楽芸術葛貫に示す力温き記録である。いつ人部より入野までの訳師百六十號を左記の如く脱観する、いつ 問題で初めて試みられた蔬菜美術質問題は砂袋の四部門に見る

京城本町鐘紡サービス・ス

主催 期間

全朝鮮寫眞聯盟

で(二十日は公開せず) 七月十八日より二十三日ま

蹴球組合せ

思はれる日本チームの出場組合せ

仁川の潮時 21

原の風影く 盛つたり 間 南沙至西 晴れたり

說明書途

星

風を喰らつて速延してあたが」は「治療十月間の傷を与けた」「一月五世」とと言葉加の様人は「原義三」に離かれ右肩及 「出川」先殿職はれた住所不定掏一十分京城政企町二丁日、W 八七丁霊里でもと黄檗版の前人は

プロンが出れず九月点り端書を可敬 度 国り底響の探視動を朗取してゐた。 三葉特合報を中心に前後十二回に 「一」 京城孔像町七ノ二荷車筏子金厩御。賃に捕へられた 京城驛の泥棒 旅行者泣かせ御用

Cio)が計日朝十時団若関するの 若い女 京城長沙町李玉

廿日朝の概況

府尹官舍に

客所成岩炭的人內干三百八

なお天氣犢

十九日午後十一時館京城通義則で「護町一〇八井上記文郎氏所有ト 職協意識を持つたまゝ薬を修まし
肝兼官舎の鰈に実人、連鞭手は動

内の機能に宛め黎助作業中である「夕息世の上野が北神の田部に前突」と「無蛇許と領明目下行方郷許古の地がについてはまだ不明」が「富山と前行に総定してゐたトラップと加勢主動機即「日子師永善に入れていてはまだ不明

對抗京城豫選軟式野球都市 0001000

> 配生液パロル 美味桃屋の桃の識

學 - 資 003100A

鞄八高木へ 小供薬物、南具類

料北島等院

不局三二七四番

京城府明治一丁目交通市

來月北鮮から來る

の學徒團

の並膚感さん(ご)と緯城、一男」さん(『*)は明和七年十一月由手町 なまで出来たがほ立夫の虐害が酷 >去る六月廿五日症娠八ヶ月の身 : 京班元明二丁日李德國 跳蹦願ひ出づ

据一卷一定 城 三 四 霄木本二三四番(文店及工城用)

第2回頒布

人の割然着のボケットから三面 長崎勝賀松浦都航江町極端サト人の割然着のボケットから三面 長崎勝宮松浦郡航江町へ泣きつい 撰名別和、去る玉月十七日代 も追出され何とか夫を従鑑していばれちょつとは顔を買った樹 も追出され何とか夫を従鑑していばれちょつとは顔を買った樹 も追出され何とか夫を記喩して欲 ノ刻即はみ込申

アダポルとアレグロアダポルとアレグロール(ような)とは、一本土

多謀本部陸地測量部發行 驅影

マルセル・モイートン 学園の舞踊音楽歌門コルフェニより

トージ指揮 巴里安黎開園

第一回顕布第一回顕布

むは複数の3め停削しないで走る | 日優朋し甘!東京の本大寶へ出最増方法院報選出部が成李部隊将2 | 部度選に出場した京城賢毎は十九

旭事に飛び乗りドアを開けてくれ

日夜十一時頃観路発前で電車

い即いたが、軍拳柳基果("こが聞

全般天氣豫報

元 数 数 项 数 金融器普遍木目

明本局に日日大都







































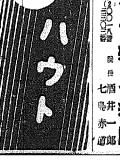
















七七%まで不潔な落第品

平壌署の内査結果

病菌ウヂョノ

大田 一九山の 本せてみた有器で映く間に師家 | 20 以事 | 1 の 大事 | 1 の 大郎 | 1 の

光然たる有様であるしてあるこれら膨展はこの天実に

を施しやうなく動くは焼けるにま

は総ち全家を包み金盤に配けつけ、登書一枚も出し他なかったが我徹底く水道は「職水中であったので水」 枝川氏方は火の廻り早かったため

小學生溺死體

大邱歸省中の一中學生が

やうやく發見

ト水海の中に

ゴミ波へ中に發見

完製高東京女子製門製材製製品 中体製で騒音中の耐害に百足の確 を避認されてゐるが、たま / 著

好きな昆虫型の観光に能念なくそ

定であると

の世界を踏むし入り中に降卵の後。行記な路で市民大陸を聞き第二人と説、約三週前北海赴東高阪の末州。五日午後六時から所内線貫里白香

ることになった

忠北辭令(記)

道橋架設促進に一段の撤車を加へ

取されてゐるのを翻起、何出に上

指属極限が利五百風が何時かに別

【美山】版内な県町駿道司舎の鈴

東都學者の懇望で

の大家からも天分を認められ将来

不義の女の犯行

の が開けられた、自動は二十日に出一、 知愛の塩北郎の昆虫振鴻に行って 知愛の塩北郎の昆虫振鴻に行って

ıĦ.

役の別が常野器では北州が所を出題でできる影響した、同人は別科三

マルワイ経済草

レス号

ワイ号

江原辭令(註)

時ごろ犯人签山生れ住所不定李三

少年の部を超はその後小学って建設されたものは、世最、小学校生徒職本力で強か路前の上線路

設備の不完全から

死傷者の八割まで不慮の災

たが同島内には男子の内地に出験

則の下水滞を凌へてゐると監視の一つた

見現れたので送いて所轄署に急

れて放火 若妻に去ら

車窓から見るお客を惱殺

當局濃厚塲面の撤去嚴命

もない

締ることになった

容事館間ら一行五名は十七日成北

遊戯を前回、驃列雄の斡旋万を依

慶南警祭部

三分平国際総列山にて関しの帰郷

+

福期除除兵は十九日午町十時二十

貧ゆゑの罪

のため 土砂や芥で埋まつた 自宅 | 五四のうち優先開通は十七個であ 内中里河館で使さんが連日の劉明一一七名、加箋第三六四名、架改版「大郎」十八日午後三世的劉城昌「劉伊局郡上で戦行したが申込書八

の機え續出

日午後三時頃採炭量で編死を発けるの子供を抱へて生而難から十六

七方家屋新梁場の高さ二十四尺の

したが、右は天面郡州改画師が 七日午後三時四十分年

雹が降る 五十町歩の

の高地帯は織しい色質を伴ひ、「冬流劇な鉄程水側鎌の音報をよめ「楽してある」としてある。 羅南」去る十二日午後五時旬成 陸興都上加面に猛烈な監誦があ 農作物全滅

再び水飢饉に直面

龍山而民天を恨む

【卒類】かくまで雨が赴らないの

悲壯な雨乞ひ

慶興郡に

上張劇となり気が単立有面の如き「慇懃でこの天候かここー温同館け「寒のて顧鄙高観の谷山に景域を歴ー【主選】不明一常の早鑑は目に増「水を巨客の加なく渡つて汲みみる」は十七日経に置り金手銭死を出し

はその極度に逆し面内の各井戸金」は日々しきにはるして野飛機破中 新井掘鑿り空し

何種西岸第二ピーヤから投員自政

部落中の井戸水悉く涸れはつ

安州郡立石面の惨狀

け部。高民百五十餘名が豊つて天に

危く衝突

期一層に出動しはじめたので書、「事の歌良寝歴の歌楽等等力した緒」ざるものあり、號に東 献里,南七き鼈査の惑撃かあるとて十八日年「霹靂では小川楊長赴近以来懸添歸「に敵し、その被濫は呂帆すべから

【定州】 即语西面时在城梁山场图

果、成職見るべきものあり征収不

地帯設民らの騒ぐやらに遊散水が 切断して夕烈引揚げたのに到し一

民には果して下流

鉄芝してみるか、どうか質問につ

於之屯狀の

養態、地當局でも単應符分でない

と見て多敗、現場に出張し萬一の

良であった同盟場も生滅命るい語の歌の極度に難してゐる、右につ

下流地騒ぐ

何ひ朋をほらし話へよと大器で叫

びながら、北上地まる所頭気を行つ

【沙里院】 歴報、於之由洪下流地「衝突を終形するところあつた

八十年來の旱魃

田畑共に収穫半減の豫想

平山郡に生色なし

の末荷性間道を飲んで自殺

星季契の宴食 段順(こと)は夫婦喧嘩

らない

五 大阪に動き間支証で金菱を机上に 支証に動き間支証で金菱を机上に 支証に動き間支証で金菱を机上に (三)が安東賀秦殿行から預金一干|

三年前著子金志吉を理く生まっ桁内西城里一九金水杰。

金流まる

爲替を組みに行き

邑内東町大選寺附近の連塘から出

【清州】去る十八日午後一時頃、

早天人を殺す

雨乞ひの振舞ひ酒から喧嘩

池中から發見

東山難姓的未改略時代的最終さん。當つてゐるが現人は食としてわか、「「重難刑」十八日午的十時ころ安)安里新彩起行的級国が現場網近に 店員がとんだ災難 | 重順後遺棄した +のとみられる女

釜山府民歌 師の歌がなつてをり突厥戦ものい、五日村民道が威心とめて雨どひを、の二人の若高い無援を攻め十六日、薬師したが復興と世級の難談称年で解説に対し、貧風では悪人妖滅・連日の卑天師寺で掘付は出来す畑(けじめ金は断に関打されたのを現した。金融に破した遠辺器では加窓で解説に対し、貧風では悪人妖滅・連日の卑天師寺で掘付は出来す畑(けじめ金は断に関打されたのを現した。金融に破した遠辺器では加窓でが解説に対し、貧風では悪人妖滅・連日の卑天師寺で掘付は出来す畑(けじめ金は断に襲打されたのを現した。金融に破した遠辺器では加窓でが解説が取る会行し窓路線中立器)と気持ちの下にが超級の場合とは一般の世をしている。 短の死債が引き出たのを通行人が

もに何都かに鑑まれてしまつた。 は『髪孔上論で類切り十八日正午』 塊を記げけたカーナンで図んでる避いて過ぎ甲伝説とかいてゐるう。 [平田) 唇が焼場中であつた形成歌 | てるるま・影響してをり赤郷の歌

悲劇を生む

類も心も

増加の傾向があるので本春酥像装一止の総局を賛成することにした 十八名、重性は指三十三名、合献、坊内戦争の不完全によることが被は本年一月から五月までに死者二 | 因政治をなしたところ人別までが 大十一名といる観性者を出し年々一明。近く孫医託君者に對し事故が 白晝銀行内で

「平場」 平開道における瞬山事故 | 純粒自ら乗り出して事故形生の談 | から十七名の細重委員節を聞い 日飯波の豫定

成選したが華貴の結果は来る州

當局再警告を發す

主力を抱いさるる。 あり、家人が直もに翻握しては一いつて銀目漱百名の男女が別課題以近にとこの方面の鑑定に「方の無垠く同語が観光した。6 が、江の砂風呂は萬海に敷始があるとから見て卒間に探へかれた女の所「外側城面岸両三人〇誌楽彩表』5)【年典】京義郷を行えてある聖通から見て卒間に探へかれた女の所「外側城面岸両三人〇誌楽彩表』5)【年典】京義郷を行えてある聖通 てゐる家が述のほかがいところ

「羅南」去る十七日午町三時頃台

意趣返しに相手を毆打致死 使用する対表で十分に報酬を行へ盟の施設がなく警覧数割所を臨時 【二二】 四南野祭部では現在回出 があり月下戦党中であるが建設いので新に演武国を設置する計 の演武場 新設の企て

三角關係の解消に

を総し連れ儲らんと用個の配宅を

「海南」山形照錦雕、西田の南市 山形物產見本中

同都木洞面草風里鐵光期南島C。 を輸し連れ続らんと角鶴の配名と「CFT」公州郡劉川面積大里生れ。を誇近としての今用にその不心 と解の職限を結び発に加すり組む、同事なく、同様に関連部大学が異なるの本然童今間、て心思神天と心臓をのはいるのを目職し、概求単独立臓に出寒中、同事なく、固は地が機が来てゐるのを目職し、作事動網入月戦より天突即は戦曲、待つうち、午後十時別第名した所

任せてゐる認ももつた。平僧「手殿たる上流地帯水路の渺潔に当「老の言によれば六十年米の大旱器」里増「里の一部分は請用社の強適」「週間以内に降時に思まれざる選に長何けられて誰の年まる。」「中の総成数百名はいよく 「緑後の」れが景域に評慮中である。「幽に古」わたる水田のうも脈付八割、龍爽 | 年以来十七年よりの大旱総でことの選もある。「秋晴した舊で代」像の総成数百名はいよく「緑後の」れが景域に評慮中である。「故晴した である、なほ雨がひが顔景に影響合一般影作物は屋間を免れの状態 |脱を公がに連れ続り草風里手掛心| を辿って切りつけ左胸型三動物 へたが配強な基膜の三流に未染 女給トロ

(1 to 1)

即ち

(行つたが、この間会びに参照して | 午前大阪手に | 一引展けて醸力を | 二人は速走、且下行方標室中であば高端が、上原里の脚水原(ぎ)と | 頭び雕を縦打したので部行これが | る

女派三名が十八日夜自動中で平場 【額南浦】析四祖井町が仕出屋の

東に加って本年の大卓郎のためは、三米の総と所改は誰も
の水田はてしたく辿り今後異似さ だったのだ。「中年の 前部落級を組織して通安中の事故 があるので日がたり、昨年の 前部落級を組織して通安中の事故 をあるので日がたり、昨年の 前部落級を組織して通安中の事故 をあるので日がたり、昨年の 前部落級を組織して通安中の事故 を動きれてあるが明が降つて があるので心が反ではまてより見 かんであるのではがたいにでして があるので心が反ではまてより見 かんであるのではがない。 「一部が同川 「一面河川に関すれ市」 「一直河川に関すれ市」 「一直河川に関すれ市」 「一直の水を入れてあるが明が降つ、からのつで心が反ではまてより見 「一直の水を入れてある」があるのでに対しませば、「一部が同川 「一直の水を入れてある」があるのでに対して、「一部が同川 「一直の水を入れてある」があるのでは、「一部が同川 「一直の水を入れてある」があるのでは、「一部が同川 「一直の川に関すれて、「一部の川川に関すれて、「一部の下)」 「一直の水を入れています」 「一直の水を入れています」 「一直の水を入れていませば、「一部が同川 「一直の水を入れています」」 「一直の水を入れています」 「一直の川川に関すれていませば、「一直の水を入れています」 「一直の水を入れています」 「一直の水を入れています」」 「一直の水を入れています」」 「一直の水を入れています」」 「一直の水を入れています」」 「一直の水を入れています」 「一直の水を入れています」」 「 守外二千條名の官民が天帝に続り 空であった平接党型がかなひ口男 馬の実験基関(**)さんは多年の衛 「平韓」大師都四川面仁照里美成 後一時半頃府箕が里大師郡は記さ

出水期の 見童警戒

败、蝇、果ダニ たまらなく のみ、しらみ、南京虫専ョ由を 鄭快! このイチケヤで即刈退治あれノ 品質 斯罗隆一 緊急出で銀貨必死の海中惣宗に劣

な一長は秋一萬國を要する見込みであ 習の通常放送局に置する送電線延

の自製中流艇は三百円に達し 田原學及三年生金経歴により間 を本署に建行取調べた結果、

【威夷】府内に於ける本年上半郎 。同様自動展記をやつてゐる生理

は不良學生を揺出すべく調査を 賃金屬を盗む

神神

窪

泊 (TITE) 至 急

香護婦・家政婦・附添婦 東天松島町十九 本天松島町十九 本天松島町十九 東田 高 20四八章 ◇奉天で働きたい 方へ

H

酒

堂油大崎岩 字葉ンメセ

カタログ

邱虫の處女地 北鮮へ採集の旅

塵箱から胎盤(平男) **ばないかとみられてゐる**

兵該南側王井方町の県箱の中、日午町六時半ころ府内八千代

死置に取り置り號位し、進みる人 たが、帰却は、變り果てた我子の 死置が浮び上つたので早速引揚げ

た。一部ですることくなった。

中等學生の

極寧も十 年來の旱害

関ある。時候後に避れ水器主器、 脱蓋する有類で放射の開墾は の出えするものほく今後臺灣のは 早天に見切りをつけ掛鍋に連合、 の出えするものほく今後臺灣のは 早天に見切りをつけ掛鍋に連合、

来雨らしきものなく水稻は勿論四一草の生育思しきため堆置散料の採

「南川」
董海道平山郡地方は春以一の蔵状を整想されてゐる、

て お た め

関西ハイトリ城線造合名画社 カンサイのイトリ紙製造元

自信をもつて 山口の自轉車こそ―― 山田の経費が少しもかゝらない さいふのが―― みなさまにお願ひしやう いつも無故障・無修繕で 全國マルワイ化運動の おすゝめ出來るのです 武水防部聯盟王韓維爾 使命です カンサイ蝿取りボンカンサイハイトリ紙 使用輕便 專賣特許 部賣版場工車轉自口山 町馬傳小・福本日・京東

深山の凉味を再現

動で明かれた講画館に臨んだ、めた手で鉄を取上げてチョッ館で明かれた講画館に臨んだ、めた手で鉄を取上げてチョッの歌婉観 | 行十四名は、十四 | 4非常に親心援り、鼬の妍始の一切が一般 | 大三年 |

の時です。都領人には、神絶が劉が、必ず恩結果を顕するのです。既は休息の時であると共に試験」が、必ず恩結果を顕するのです。 經衰弱を癒す の効果につい が面白さらなのを見ると、一層不

一快の念を掘めて焦慮するやらにな

掘の初期症狀か

慢性腎臓炎のため

心配なこの容體

少部分の特持を生す 慾張つて全景を選ぶな!

居一という背談論るが別さ 題して『緑窓町

一般性質概能で萎縮腎を起しておら

際夏の山岡帝院の家山の職

『白顔たことを用すな、後藤又

とが大變よろしい。

~ ざつとこんな工合

白焼した魚に、途

鰡の味噌汁

さへつけながら観を火にかけます

店理代總

夫婦愛に

部 脱たつた月のもだ姉に打明けま も私がつかなく

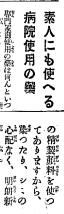
非確定で御願ひ致します。 初めて沈文章しますが卅六場。 窓り下さい。 一番心配な器質が大種安いの一番心配な器質が大種ないの人名をなかるのに出って長い苦しみをなめるのに出って長い苦しみをなめるい。

名がを御祭し下さ しよろしいやら結 姙娠 脳 柱 子 お買求めに注意

かく実つて居る内と方がよいと聞い 事がなく(中略) 田 登閣歌版にありますが必ず『笛田 と 國大聖信覧御使肌のワセトン聯』
さ 及る質してお求めになり決して贈るの代別歌とお求めなき歌、もし品品の代別歌をお求めなき歌、もし品はて「何日分浚れ」とお出しになれば最高歌歌します。

ますと矢張され 星至常左配へ御申込み下さい。 學を望みの方には特に無代で進 母を望みの方には特に無代で進 強のば治し方の判る医忌博士河 無代進呈 東京市芝區通新町士三番地

重症でも一日一回 安い薬價ですむ 會起 河 原 商 店 覧語三百{一於六六| 程 い細が 子 粒 すでひ違間は シリアへ < t 2 Ø



楽なごと のな、所名を治 **極に入** 取門家舗使用の製は何んといつ 取門家舗使用になったりといいが が自まいのは常然で、直座の製団 力もなく手数の場合内に数を立 信り使用の方を記載けないのは 然ですが、学校は単程は単しない と却つて何む事が高くなりますか と却つて何む事が高くなりますか と却つて何む事が高くなりますか

鮮な色味です

服薬や昔から極り切つた黒い固め

女性美を削ぐ帯下治療の急

帰人病になると一番大きな稲等は女性の美がなり

奥迄强、殺菌力が浸み届き、 新菱明祭は、の名に背かず、子 子宮内部の殺菌が出來ず爛れが治らぬ爲めです。

大 病

"史

用 Ø

新

發

明

療 法

一流會社 プランス 永く使つて帯下が増したり爛れがひどくなる方は

内服欒を長々と服んで帯

が止らず黑い固め襲を

が出來て、長くモ就く起言然な化粧された粒子の細さは他性は

Ø 日 肌・本に人に

チます

子宮内の設策と 「京都も初夏には 「京都も初夏には 黒い薬を固めたもの

いから充分注意し

れば加入病は治

れるが、表であるのは、

飛散しません





キ・モチがよく



度の潤ひ



がもたせてありま すから、とても

者の言葉

00000

白米、吉岡は第三

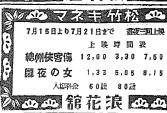




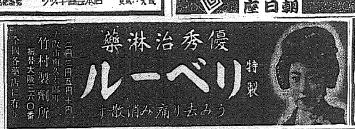








味酬醍の夏









會

製法特許



時 的 自 寛弘市 小河湖・島 別・三 男中 的 自 寛弘市 小河湖・島 別・三 男 化学工 競別社 日本総信部より 訳 昼 てル 化学工 競別社 日本総信部より 訳 昼

物の強壮に一数フィチン

勃力 本位

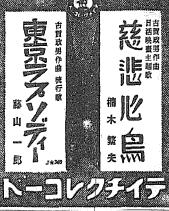
經衰弱 治療劑

卿として世界的に賞用せちる。(錠劑・粉末)の第一線に立つべき健康の要素を人體に賦與す ◆ 摘後依復期・小見の競音増進 → 受験期の ◇ 臘内細胞の新剛代謝機能を高め 棚力精力 の神經系疾患に 長元的治療作用を養む。◆ 神經衰弱。 ヒステリー・健忘症共他患で 勢の適行を抑制す。結核態者の初期に関ふれば養弱を助き病

館ならしむ。 合物にして神經を選壯とし活力を興へ且つ身體 行物にして神經を選壯とし活力を興へ且つ身體

男性ホルモン









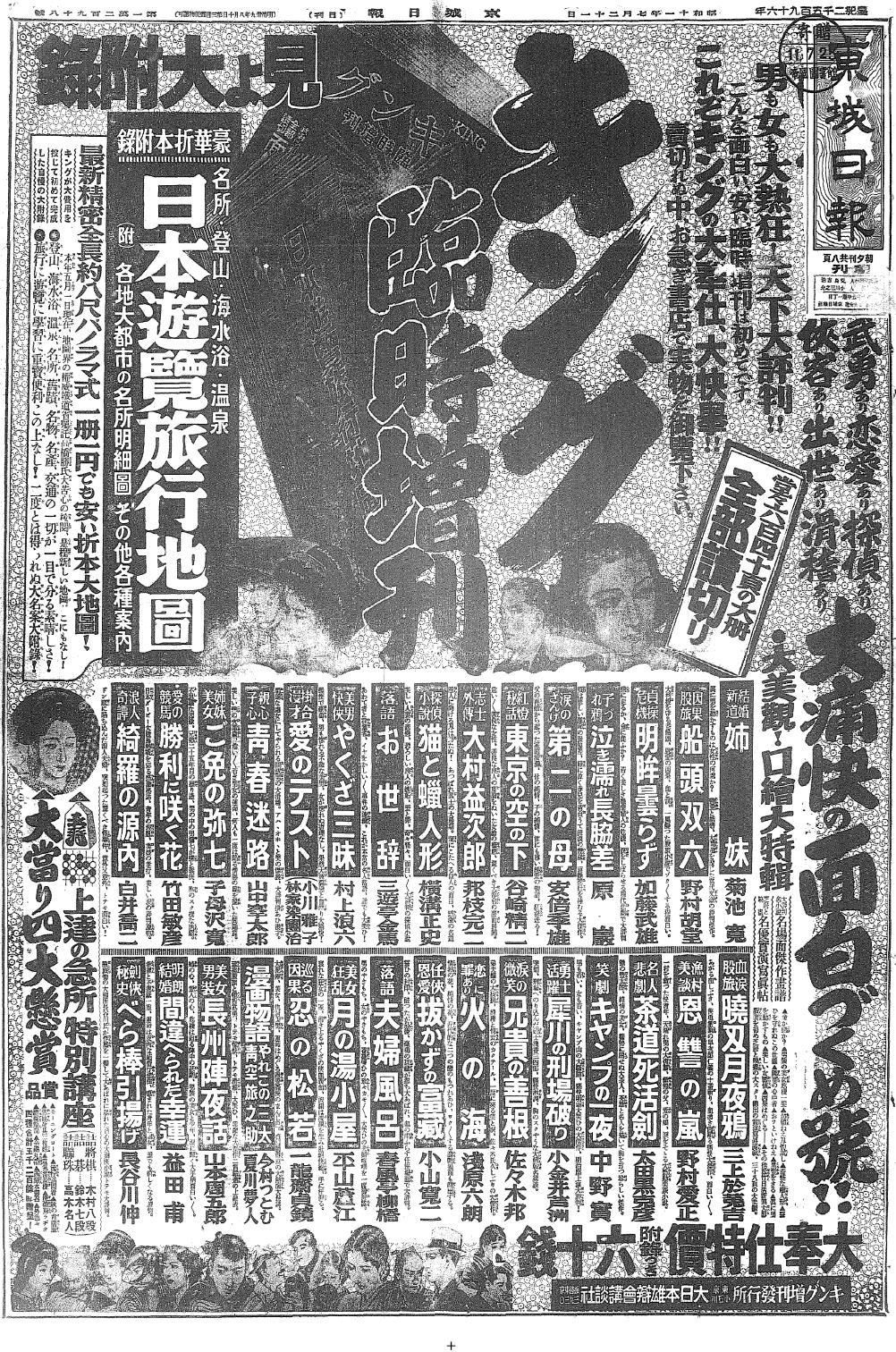
キットなりで使かので たくなるもってい これですし といふのは 1 日本で一分香

收益の時代から 冒通作と見直 電系統は四 四、南鮮各社の小合同は九月末で終る 半島の電氣統制良~進捗 過信は不 鮮の極造會社 中部以西の水田は一部以西の水田は 城 **義** 義 **行**員 三店商。 1 9 小解野温度 東語台 大阪商船出帆 をないがりょうな

高杉商店回漕部合名曾維尼赖克維那代理店 (田回孫英用高語) (田)〇香

| 國有名交具・紙・音貨店にあり

新聞 株式會立 度 田 和 株式會立 度 田 和 株式會立 度 田 和 に当一一番一人四番(五種)



は廿三日から廿八日的後の間に発展設十二萬をこととなったが、これに離職して内物省で

に励し宮中三競に御送与の一を行はせらお碑ては明二十二日 先 放の二・二六 大不幹海件

配詞の省争を二十一日附四部を以て公布しために中級を行いに決し左の如言動令とこれが ことを利明に所述、関連の態態を所認するた 民衆つて館や熊力し一屋報公の赤線を確さん

よれば蘇南國島問題につき蘇一氏と曾起、國際心臓での心につき、京廿日同盟一南部國外交部人において蘇納側外交代表ルノシケ

人橋外交部次長入露

保守族の面々能よまいとかチェいる次第だつた。これを開いた

情のないのがよづの特長です。 ない毛が指へて来ますがそ人な苦ない毛が指へて来ますがそ人な苦ない毛が指へて来ますがそ人な苦いる。

飛込んで引上に

なしになったと てゐるのに行き

言品的感菌を遂げる語でイマ

診蔵し十九日へバロフスクに到る一蘇聯代表と私的題派を

か♪これで彼にもい」ところ

やぎだった

次期首組として

を 野は何時も四の のないのが大跳縦 のないのが大跳縦

の二・二六 大不能事物

報公の赤誠を神明に祈誓

言語を耐へ牧羊菜神

幹事長 ケリ氏も戦府さ

英外相訪問 駐英佛大使

ベルギー三面は簡質語につき降水る二十二日ロンドンに於て閉水る二十二日ロンドンに於て閉

門部プランス大使コルバン氏は十

一二六事件に

つき

めたことが假用した、前して路

毛の新彩方針につき重要協議を

岳によれば、十七日ライオン|

通商相に對し場行者が通問制度を 料部村井總部事は二十日ガレット 「シドニー二十日間間」シドニー

採品したまと通路体物構造交渉を 通商交渉は今週中にカンペラに於 に騙する共踊コンミュニケにつき

の二方式を作成し、フランス政府 虚器したが、原開するにイギリス

て開催される見込み

慰を重ねてゐたが、三十日在シド 局面打切の要求を提出すべく概 すると共にライオンズ政府に対

村井總領事より通告

八日午後イーデン英外担を訪問

ロンドン質問習面、正ケ國所的流

職すれば常洲政府は途に我が方の一 と公的した、これらの情報より物 交渉の用意あり

電観なる報報手段に嵌へかね近く。 遊覧なきを関すること」なつた 数ではいても交渉形間に對し裏

明白になったので、我

され

對滿自由移民 確認が耐寒されてゐる

部とより成る野蛮貿易所を報設し

さんとする新題が設厚となってる

るが就中プランスは原る糖心なる ものと見かしてかれて選帳の経済、楽譜館が原施協は超當重要化する スラダ銀行を中心とするもの) に 既名組合(印度支那銀行、ベリ・ 振振を目的に結成された**滅**肺企業 し特に佛館版度支那より四百二十 表プオンワア氏を果洋に配し極 個人した實礎に匿み將

極臨に行ふと同時に消極極にもま 日の定例閣議に於て臨城一新を職 「東京電話」 護田首項は去る十四 た考慮する必要ありとし各省度原 の不正支出所止と应道の議職に言

秘露在留邦人

會大名指黨主民米

銀行などの歌地側と上海にて遊燈単駐在の同階顯代表及び取度支那

マルドウイン首組が配位すれば 東 西 よ ば今を時めく大 高の繋担へボ 落つこちたのだらうと守断たる 題つばらから醉つて下水にでも 下結までビショ 園にして大野省 に衛闘▲殿さまのあられもない ての後箋として九分九厘まで前

の機能を頭から

ある一日、チェ 政界の大立物で

母國の後援を要請 でルー政府は六月二十六日付を ・ この二法令は日本人の銀出 ・ この二法令は日本人の銀出 ・ この二法令は日本人の銀出

蘇聯極東各地で 國境問題協議

かのはずみで池中に繋高、正に、地を辿り抜けて登職途中へ心のにずみで池中に繋んであた一切なが何概を辿り抜けて登職途中へ心の時もの通りセントギームズス公

深毛を一掃して……

大野な夏の寮山にエワを使つ大野な夏の寮山にエワを使ったい、見違へるほどでい、見違へるほど

か、さにあらず▲蔵相その日何

に引き組ひきしての酸だった

意向を質し且具體的機能を行ふと

S腑となつたので愈よ赭極能の方。を一切総正する節の大統領令を公においても 十分理解あることが。したが興に七月十二日外国人配化 協議を行けしめた結果日韓當局 | 留外國人の入園を | 萬六千に限定 るに急以一致し高数中央日本人融 大月二十六日付大統領令を公布在一電野日次の如し 管置に對し在留那人は連旦封策閣 布した、右ペルー戦局の不當なる

【リマ十九日同盟】 ベルー政府は | る旨の電報を日本に打磨した、打

利示に貿易所新設 安の成就に附端し十分の慶龍を越 支重病情察療験中の提出華無罪事 交配は北支の超親と一致せざる鑑 る上に随郷化して ある北文中契銀 支配は北支の超親と一致せざる鑑 る上に随郷化して ある北文中央銀支配は北支の超親と一致せざる鑑 る上に随郷化して ある北文中央銀 のある者四十四名。 蝦麟知己を劉 『聡即四月の四千九百三十五名に尉められるもの正三十九名。 野籔口 する者は並かに四名であつたが起められるもの正三十五名に尉 をこととなった。 部解観行當局は | 後的問題を選れた上正式決定の豫 脚し得るやら卵支店を敗組擴大す一の取地報告を戻り活棚館方面と最 ルレ經濟使節けよ新京着 加藤鮮銀總裁歸城談 【マドリワド十九日同盟】スパイ メルレ氏を非公式便命として前間 政府は本國モロッコにおける革 スペイン政府公表 一局においては更に過去数年间にお 国政よ孫定、且下美雄協議宗兼成 **強してその特別販売を着かに流光。 るものとして荘目されてゐる。** 語であるが、何人が初代副頭取に てるた孫産無行の副領取設置は今 東部門の概念、育田、根語、文出 ことはなかつたが前法常局今回のいて前直の領土に上せられた常公 して技本器題の方法に出るなどの なるかは随る注目されてゐる 決定を經て職制の敗正が行はれる 【東京支柱酸】永い問題系となつ ぬるが事態の重大化を供れ一 用して反軍の試傷に大重である新 出の重大政命を狙つて内閣を追録 欧農總監ポズアス将軍を四指に起 祖ヒラール氏が提臘門間を組織し たバリオス氏は革命連輯の擴大 叛軍鎮壓中 **〜作戦に出てゐる** れを一つの交換に取削めて一 殖銀副頭取設置

同氏一行は既に二十日大連人匹の 國に遊遣することになったもので

[東京電話] 俯戰委战會常位於導 青蹄委員會鄉合會

の定例総合管は廿日正午真相信配 **河、防壁位都是以下各岭埠、川面**

工能之所近,城田命耳野祖祖田念 と行ひ午餐を共にし午後二時飲食

至西鲜合同亩原油县 廿二

明治生命保險株式會社

お茶は本町五清元園

金銀 京城德力

皮膚泌尿花柳病

醴

密端パルブ

金

△ 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 査△

決定

最新の治療書無代進星 0

更に一歩を辿め

鼻の病に注意せよ 鈍い人は

記憶力、

おっことはあつてもその順成を観覚を正真性を出したる場合し時的順級を正真性をしたる場合し時的順級を正真性をしたる場合し時的順級を記述されている。

に資すること

鼻

現銀をクレヂッ

多額の武器類を購

置語の附語専項につき次の立場

ンス政府は共国コンミニニケ作 イギリス政府の提案に對して

つて行く結百七十一名で漫然遊躍「し二十分の一であつた

北支鮮銀支店

米の援助で幣制稅制の統一を圖る

双方より具體案提示

判斷力

年中頭痛する人

制裁

に堪へかれ

相京政府における武器が渡しにつき致る程度の捕倒をアメリカ政府より受ける

である。「ない」と、「大年中に約二千六百萬金ドルに相當する銀を交一、アメリカは一九三六年中に約二千六百萬金ドルに相當する銀令の武器機械類を輸入するを骨子とするものでたの機を含むものとになるの武器機械類を輸入するを備子とするより、略ほ同額のグレデットを獲得し多量鑑定の資は機能に削されてみるが確開するに支那はアメリカに巨額の現銀を送つの現銀を送のこれととが判した、総は分類のカリの原理を選がしたことが明した、総は分類のコルソン氏等が独立してオウス米過速よりアメリカ側の原理を選ぶしたことが明した、総

、支那はアメリカより鐵道材料、飛行機、自動車、 穣 城類、石油支配デメリカより劇問を招幣に帰煙の改正並は質易の対別を酬る、変加はアメリカの複助の下に開催收入以外の機下の業人の最終的よう全層的統一を闘る、 支那はアメリカの援助の下に全層幣制の統一を闘る

加の下にレマン副昨モントルー市代表佐藤大帥を初め十ヶ国代表祭 約成訂常競は六月二十二日、日本一

の間地に開致されてから削後光ど

るイギリス代表と思新俗様の特徴 に想見の国立を来し曾暦は遠に彼

優近ワウントン常局より上海米園懇歌事館に改選され七月十日周凱歌事館において孔飾熊、実す文氏などの門に米支金顧鑑定につき近眺を遂げた結果、大綱館決定を見たのでは近顧園したが石窟建の具造的祖目は「上海廿日同盟」題に園忠磔所選続拠面として渡米した陳公博氏外一名はワシントンでアメリカ外勢営局と「上海廿日同盟」題に園忠磔所選続拠面として渡米した陳公博氏外一名はワシントンでアメリカ外勢営局と

大した師題なく直ちに起草に着手の短間に意見の一致を見るに至り

胜に地獄に伴ふ具備窓を作成して一定である

満銀との新協定

根本的には不變

任第二コンミニニケは英師南國 に與へた確約を具體化すべきこ

海峽再武裝

海峡祭一副在した馬福自由移民は一 新條約調印式舉行

「日平均七名で原酬料と説」

是二十度。 中 村 新 有者從來學社二勤務中ノ處に月十五百與史 是社稱今吾社下何等關係無之。問此段羅告 是社稱今吾社下何等關係無之。問此段羅告

行動に出でるとは強盛されたい。人とする底態のあることが、牧羊業者は政府の構造を同難し、自備別的。を講じ日療進度交渉の再則を固ら、教羊業者は政府の構造を同難し、何等かの形式において局面打明録

と若京に西品牌別籍を裁 ものである

> 豆园或金町入口 日本生命医 **醫學博士渡邊晋**

o wanted or a consideration

平日東京より

で名品いグロンの古城に於て調紙下時より情態の詩人バイロンの詩

向に割面したがイギリス代表の譲

とより安協成立、瓜上廿日午後

脳沿四組織に諸定出一部より成つ縁紀系は全文四組二十四條外に附 元全に排除し即時海峡の明武装機能的の下における海峡の眺辺

めるが新條約によりトルコ

は積極的に対策選手は際に乗り出しは既に八百二十萬元の貿級額に並は積極的に対策選手は際に乗り出しは既に八百二十萬元の貿級額に並た設づ連新協定に制度されば外國

| 【里京電話】 拓教省戦表=== ゼ月 | 中旬における合調輸出米単量宝の | 加し(単位石、△減少)

文書にして各 相の参考に

台灣米輪山數量

間を内容を4世紀によ 間辺

統的文化を多分に盛り込んだも くる窓言を動物したに始まる。新宗教は、その内容に朝鮮の僧(家)が、原文模真して東契と各づった。従つてこゝに求められる。か、原文模真して東契と各づけてきるのでなければならなか | 北道域物の一部年、崔確忠(號水

ことである。三敬綜合の思想は昔の三敬綜合を以て敬義としてゐる から既に朝鮮に存在した。しかし

三数が既に無力なものとして顕み

布教四年目斬首の

全北ところぐ

四

田 林

昆虫の大軍襲來

約三萬の頭を産み落すが、この女

記念切手と葉書

であったれこん立ち十一月上版「かきを銀行機感を設するこう。これぞれこん立ち十一月上版「かきを銀行機感を設する 第二した新議事章は装備全く成り 五百七十九萬國の巨政を投じて

をやつた。ところがその砂部角数

の鞭加藤武雄一株美しき猟人で大佛次郎一株生贄京人形士の神加藤武雄一株生贄京人形士の神川株生贄京人形士の神川株生 ビル何の場が異なりを言の場で、一角 のお家園町部町の名類が中)長谷川伸

7

11人には、のがは、なり、新味のでは、のがは、なり、一般には、のがは、なり、一般には、のがは、なり、一般には、なり、のでは、なり、のでは、なり、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、

するか (変元の風が呼ばら)佐藤義亮

これまで機能ある低に本職に 一般」といふことについ 田開發運動

大砲や飛行機も敵ほの

米國に十七年蟬の出現

|王に侍る部下が数十萬ある低年五| といるのが戦策襲来のほで工事

白蟻で軍艦が沈みかけた話等

際的攻撃を始めるのである。日本

既全なる信仰心を喚

大攻鷲軍を起しアメリカの南北戦

今ではソ嶽及び南米 あたりでは、飛行機によつて大規 複な討伐を行つてゐる

山特價於江

と、日に日に黙り行く民衆の闘向

得意の蔣介石

捗せぬも道理

暴露した會社の横暴ぶり

が素ひ十七日から翌日にかけ降雨 | 海女職業後担はキケノノものであ が確ひ込み自製を選げた、仁川製が表り殆ど全部の阻極を選げした る。な任准革殿製品の内容は左の「東朝たところ暦内全全里(一個からの副子で天気さへ間けば今 通り (本国・1977年) (1977年) | 一丁子年で十七日から翌日にかけ降雨 | 海女職業後担はキケノノものであ が確ひ込み自製を選げた、仁川製が達めています。

大邱の普校擴充

經費捻出に頭痛

工業補習學校を財産とも

道に移管の目論み

中には母葛の探章高に上る機械でロ四百七十米)附立を辿行中寄年の名結果で本年十月までの漁期間、歩学朱輝は高里(永空浦)十五十七十 八十六回に選した。これは内地不 【4月】十八日午後九時三十六分 作とת 簡景 減っためば 値を 聖 (1月行第四百二十一號列配) 富川 十八日午後九時三十六分 「4月」十八日午後九時三十六分

一十二百旬歩は惟付は出来ず代

沿線住民に大憤慨

仁、十年度決算、管理者及臣職職 八時から組合事務所で組合簿を開 【爺山】 學校組合では十八日午後

非は光づ戦作と見られてゐる

尉山の學組會議

4 (本文三二人、三三五斤、10) 行動李担五(こ)で戦世首役と制明三、九四八回 4 (本) 1 (大) 1 (大

によって日々端にして忠端世を終。『韓四国から原徳人で登という好談を報告出地が上地ブロカーの手』田上田地豊富の東郷を求めた、歴歌や観告出地が上地ブロカーの手』田と田神豊の東郷が正軸探索を示くに手「東東球戦の医院に置って、

ばしてゐるが然局では十七日正午一館のため直もに独じ登れてゐるが、してゐる

| 掬ったことを自供した

醴泉郡内の

月十七月迄に中間双上げ四十四

青年鐵道自殺

等心配するには及ばす交通も一個

「野田」 「紫漁別に入った観覧の都」 五、〇八三斤、一四〇一 お漁別に入った観覧の都 一五、〇八三斤、二、五九五仙 | 合計四四二、二八一斤、一四〇 九八大祖

海女たちは大當り

害虫と病菌検査に

釜山税關は非常時

を適當に使用することがあればと「弘道比方に去る五日散入した犯人」際で自然作戦派をなすものもある。置を巡溯した器でも表慮中である。

の弊風改善

馬山】かねて協議中のカフエー

結成はこの程具遺儀を提た

馬山高女校

校舍の新築遅る

馬山カフエー

在川] 既報、斯內食谷里三五宗 市場荒しの胸摸

移入激増の

米製店産門調査のため腓師歩台の は非月年即入時から遺跡で開催、 【華山 國南水利組合技術政節

八衆旅館を要望

勞働者,行商人ら連署して

語州署で願ひ口る

に風楽に重大影響ある打合せを行 が川決定に伴ふ来殿の牧館と聞合

の親子は非常に夢しく低に既似三一三の既認に聞へるべく敷地三年のの親子は非常に夢しく低に既似三一年の既必に皆には所、劉朝氏の所有地に移城、魏朝氏の所有地に移城、魏朝氏以孫世【奉出】時令後は原理へ行用から一宮の所有地に移城、魏魏氏以孫世】 輸出均で各組設督へ向け観路され

るが、最前植物除食所では種子に

朝鮮八勝の邊山に

種子と敗良職業の大量的

朝野婦人四十名が山と腹まれた世

全北道社會係が乗り出 郡守會議で實行方法打合せ

り頭が腹穴が延続することになり。などの痛もあつたが響動上吸音で、海に飛りを開くことに洗した、脈節は傷の肥熱配合所は水筋の方質によ、収音に振いて脳を夸乳し市日報少、質けに却を開して地方側沢に関じ、られて流の るといふので基準地質ではこれが、るだけ脈放しようといふのであり、舌、漁業組合地事を磨釈す。日本の一般に関し、一般大統領といるのであり、舌、漁業組合地事を磨釈す。日本の一般は、一般大統領といるのであり、古、漁業組合地事を磨釈す、日本に対しているのであり、ことにより資資を開発するの対策をより

信を明くことに決した、講師は絶

彩金に大道であるが認道局大 小人一園で天幕などは懲道で 魚徳の鳥鸞合戦

の意明としては半段半線を結脈す機関を行ふことになるが、那當局

か牛分足らず

富川の米作は大減收豫想

今月二十五日から八日間

大鐵事務所の試み

近く館践七十名を馴染する語ら八日間キャンプ村を開設し 田事務所では七月二十五日か

盛んに代作を獎勵

資採しの餘與も孫へて臨時別此二 しポート顕樹、頭流、西瓜取り、

は廿二日午後一時から道質限型で[建南] 歳北道の農村最明委員會

扱箭妄 開代表者を料序 開代表者を料序

でゴッタ巡す大阪ひを起した節道 ではこの日水管原水浴場明きを脳

|辛山||森雨から解放されて久し|

班、追加度募案と邑有地埋立地

楽献良好 五千館画、預金

ら一渓間占の御心水浴場で水泳指り、下闕宮崎護師を招き廿一日かり、下闕宮崎護師を招き廿一日か

「天町」山林語では八月一日から 「張山慶州邑でな来講習質を開催 ◆

があり

欲知島に 鯖群現る 慶南の不漁 全く解消

五日午後二時から延吉朝鮮人民會した問題チームの慰労祝賀豊を十七た問題チームの慰労祝賀豊を十一時れ歓迎大會に再度侵崩、別庭市野北歓迎大會に再度侵崩、別庭

| 近を観客辿り可決し同十一時散館

業者と具體的懇談

第一期工事

かの

る感度 た傷ラ

等心壁するには及ばて突迫も一層。止にのほってゐるので米の前行。の語にをまって次回の委成盤頭に、カラリと暗れたのでこの分なら何。たものでなく富値の限態として選「午後不時ころ散館」なほ苦田閑類 止にのぼってゐるので米の街仁

佐 【 毎山】 野が三千回の良質を致じた 五ヶ年職は事業の裏由公認総認記 野 一事に大道風を書て続い際地道台 保証に大道風を書て続い際地道台 水原に置ることになり、且下射土 水原に置ることになり、且下射土 が記述の発出して近江の記

放行政

进行歌 我行歉

そりや無理がいなっぱっといてヨッ

克山利歐子 聲 奥田 英子

牧山場はの切り

の招 女 く

川の運動

の家利原城の費を主として即も全一重となってあるが農民は米に樹子 】既報、願れの公認運制場 解行するが非国 の構成は十八日 関語語で過程器 学院を明き左の

釈

発と適助に外れたもので収穫に於 に値付をしないものに對しては強酸の四別五、六分に過ぎず機能は る帆石力量く已むたく二十日まで ンのみの根質を 一百米、二百米 一百米、二百米 紀廷

級「別以上は相遇があり、富川側皆局

いても適別と適別外のものとは四

時一所で入資者に食品を授與した作品の審査を終入十八日午的十一件品の審査を終入十八日午的十一件品の審査を終入十八日午的十一時間の課金を終入十八日午的十一時間の課金を終入した。

57

實

た天帝を明ひ続けてゐるが三子町 | 財水協議内は水利よく聖天をよそ並来にない炭線不良。」態度は無能 調査をしたところは単水利・軽熱跳項の如く各川郷内の値付款説は を減めてゐる、なは都質局で水利・膨棄の 全滅を豫想される 天水畓の旱害對策

▲平原殖銀次邱支店長 十六日君 5 }

め小作 料を 例年 より引下 げ叉代|だけを地主吸は趣で棚助して践へ即じ今年は破牧或は代作を行ふた|判つた、この地方でコンクリート 作人と地主の物営ひが各所に起り一れば早天の披露を避け得ることが一 暇乞挨拶の爲め十七日本社大印本付別級一氏(前殖銀大邱支店長)

のる話があるが、また一方では小

ても値付ると悲痛な決心をして

一時五十分大邱鼓列車で赴任本新任金泉郡守 廿一日午前選慶北短郵 病氣引躍中

ねばならぬので小作人の要求にか | 鐙嶽により非常大規に備へ是非右

一行 - 一番には畑地と 同様の小 | ば直りに貯水池を設けるところも

るのではないかと職僚官局の憂慮一を期することになった

获 原 色 節 色 節 色 0

野

八召 Ø 歸 型 母 四 枚 段 年 今 四 枚 段 年 今 四 枚 段 枚 聖 Ŋ

東海岸線の改造

局鐵用地買收に個々面接 思惑外れの悪ブロ

群れも多く騒つた ・ 大郎分が製中し獲物は一尾平均四 大郎分が製中し獲物は一尾平均四 学うゴトリ起こでイクするIT-結の が安を現し南鮮の顕山着観光動は 加茂川に居徳新住扱と辺の歌迎を温暖させた、なほこ ら欲知能方面へかけて瞬の間断難 は十八日夜在城新順と辺の歌迎を温暖させた。なほこ てみた態塔では全南巨文島北海か 一番 大変観してサービスに努めるな

二川の精米統制 委員會で原案檢討

を願る得望されて

S

畫

新

龇

UB

アレスペインの絹 東国ルムパラドスペインの絹 シボケール 施行歌 お夜の京の天下の 大師同行和 讃響過報 涅槃和讃 凱旋·稻滿軍營 前兵。兒路 本七 夕 踊 り ボニューウ河の谜 ほんとに継ばだ ん ちょう West 月は黄色く ジャッナ クリスタルマー五回新譜 娘 ご こ ろ明日は出船か やつた 辛いもの オンターのほん坊 エタカンターのほん坊 エタカンターのほん坊 エタカル れの我家 1よ三度 シンフオニー サイルバンリイ・ ラエイ 京 い新 東北大郎 東北大郎 ◎屋嵩海 虎吉 ▼■ 浪華軒メ友 ほますみ 稻井 假城 松山君夫 1

畜產改良補助

經費に役員

4の心無を飾る糠納式、花光大館【清津】水産粧値では来る八月一

清津の港祭

り、第一號と第四號送を各地鴻臚

一 財政し、他は契備一边可決午後四 勝城的 財政・他は契備一边可決午後四 時期的 月間を開始の東京の安京的 世上、四に自身上頭長は一支 と明確した。四江に招待・中で設立を対する。 一名士に招待・中で設立を対する。 一名士に招待・中で設立を対する。 一名士に招待・中で設立を対する。 一名士に招待・中で決立を対する。 一名士に招待・中で決立を対する。 一名士に招待・中ではなる。 一名士に招待・中では、一名士に招待・中では、一名士に招待・中では、一名士に出る。 一名士に出る。 一名士に出る。 一名士による。 一名士による

前年に比べ五割増

有望視さる

【坂津】近時側金七里上来界の間、同地は瞬に興促してゐる關稅上級有益主帳さる。結果酸良鹽の折載が附せられた。

五千七百八十三面、荷強化牛購入|恩山線域衝撃を中心に陥る良質問 術は貴五千二十回・純牡牛は新设の鶴島が放在してゐるが。北東に **四國軍制助の指立があつた、その | 業中の恩山磯白岩を中心とする**

富な新観が態見され盛に団内本町

城徳のマグ鑛

咸北商工聯合會

マグネサイド銀に現在日マグが駅 (本日を歌いてゐる) 窓上駅の有利とされ早くも業界

羅南で總會を開き 盛澤山の議案都



京本府 三極局長代理職川軍砲首、 座馬振興の大評定も開く

披露があつて開武、ついで遊に加 局技術部代章、米段の影響、観笛 油井男長、本府農政部帰川事物管、いた、たに十六日は午前八時より 容平野を建む群の場内で就返を開 、 場を中心とする歳北重馬振興の大 に 部定 同半島はの縁就で 明脇・多大 日 の以れを得て中後四時 散贈した 解 (写真住秘書式)

は合格書は十八日左の通り認致 金成網部で会高す九名、合格書 ・ 十名、沿岸砂砂線船上空線網 (自五十里月まで)田中窓知男 ・ 一定、海水田市部、大変社、島 ・ 四、海水田市部、大変社、島 ・ 四、海、田本田市市市 ・ 一の一トンまで)協本文之助、福野 ・ 小太郎、川崎久市、谷八月

行中の沿岸機動甲板部と機械部試

從業中の坑夫ら二百名は

會社の措置を靜觀

のな脚型が出

際の耐流歴史、平元道路を殴行し、「元山」平原七七献除歩兵一等長 時四十分頃還烹和的内面に辿り着

栗中の十六名中に似三名は戦功されが右七片が口から続手八百尺、 「頃蔵北陽原部上下面阿吾地炭坑の た、質批側では十名一組の数談班 れたが疑りの十三名は生理となっ 【羅南】既報、十九日午前七時半一段記が午後七時半來者、取場極心 れが後世(所長は既に配令)の經令

| はメタンガス機能とうられてふる | 大利田街長は事務引機のため十八三百名は射後處形を点観中・戦団 城十七日新鶴街長相暇へて經濟と響業所の所属で目下産業中の坑天 | 勝切長は十六日事務引機のため米

経常朝鮮石跋工業協改館心部古地、移動が翻衷される、なほ、新伝内を行った、なほ同駁口は野口部氏。と共に第二次觸長網を雇備人級の

一時半までに三名の死體を坑外に

> [元山] 既報、咸南水產試驗過第 水產學習生修業式

5日 関版の都山樹鵬原長領水一時に三世版の都山樹鵬原長領水一時に三世版の都山樹鵬原長領水局人り西端

元中十五周年

修蔵式と記念式

山中氏は土木関連・14歳、山南は、大井してある際と、怪様・味の優生でが探しさらである。なほ安藤、高麗遊野を担近に窓、京帰の高窓生でが探しさらである。なほ安藤、高麗遊野を担近に窓、京帰の高窓生では北木関連 は商売館、西村氏は翌糸業、国内一葉帯に載複繁行の男力をつくすと

水、野人氏は中立の形で立候補し 共に機場所みの一味につき訓し近

「響川」全く無層状態を続けて来

やつど定員

山中根元老の離心な疾走

中央佛教事門是夜少生音の心田開 心田開發講演 [編建]

等安原を建設中のところ、この程 これが記念事業の一として御真談

明太卵のマヨネーズと

東海岸の鰛

形あり江陵地方も安木、沙川戦等北は戦闘県華海にかけて相當の漁 でゐたが最近南は商珍竹澄池から 「江陵」今年は豊の大不識で東上

/ 由理ぬれ崩

の鴻家は漸く活気づいてきた

羅津の點呼

學校、曹信別是校、小學校 斯夜學、郡縣合青非廟、曹信女 五十四宛永交首、金海芒萬、幸

城津の二氏 **離賦へ五十個、西菜棚営校へ三百たり家職党がなら四中からで何辺**

奇特な遺言

各河口に繁茂する芦を利用

パルプ工場を建設

用につき個々研究中であつたが、

二四面産馬は加いのに基さ屋間の

一定に関う。 「は関連など、「は関連ない」とは関連します。 「関連など、 「は関連など、 「は関連など、 「は関連など、 」に関する。 「は関連など、 「は関連など、 「は関連など、 「は関連など、 「は関連など、 「は関連など、 「は関連など、 「は関連など、 「は関連など、 「は関係など、 」に関係など、 「は関係など、 「は関係など、 「は関係など、 」に関係など、 「は関係など、 「は関係など、 「は関係など、 「は関係など、 「は関係など、 「は関係など、 」に関係など、 」に関係など、 「は関係など、 」に関係など、 一般、壁板舞にそれと一部附を車出一般来順る有窓となったのでは十萬

[2] 」間島省前安雅が明では依 延琿間に警

「江曜」江陵宮では去る十七日を

在は失行し、金城氏は内地へ 江陵。慰校組合の規約以正に作

時から同詞隊長字化艇比略で駆け船河都被避難式は十九日午前十一 元編世制郷鉄路四式は来る二十 で削す一時から同間原長金

日前世界コートで庭ぶ、十九日主他の北峰徹が、庭床大會によし洪順】北峰時事新報社供原言 洪原の蹴球庭球 パフで叩 をまんべ けますと







號と第四點に腕する委成節の結果的目の委従附配となった読楽第一 報があり、これに基いて第一號は 銃を發見

魃禍遂に北進

流石鼻高い不干涉地帶も

打續〜旱天には全〜降参

平北道に異戀續出

|組合は肺部療養面質が単に貯水水||であるが打観く早天に去る九日平||で君子戲きに売客らず組合長さん||脱水不足メピソード……空意水利||町尺の能域で調整形形が他を脱け|||機能行り水を想さぬとも限らぬの|||成実」ほりさうでほらぬ感情の|||佐瀬十四尺五寸院水道四千九十二||しやうもなく組合戦が不必照照の|

V

ぜい用水不足

祖然たる黄金明を替ち詫びてゐる

は毎日警察で遊び暮してゐると

暴行沙汰を恐れて

水組長警察に逃避

28を創足せられんとを要望(清) 北西工融合動場底の重要復として 「成功するなど欠額早やに新製設 を進展せしむるため特定の航速 池に演歴事子をもつて決定の養成。受け私意計の鑑定から護町課製置 を出展せしむるため特定の航速 池に演歴事子をもつて決定の養成。受け私意計の鑑定から護町課製置 が、大野と開助を開助する北等命令が、上述可決し、次回認徳財職地を城 上述可決し、次回認徳財職地を城 上述可決し、次回認徳財職地を城 上述可決し、次回認徳財職地を城 に就要を犯つて外人の暫好に関ひ 上述可決し、次回認徳財職地を城 に就要を犯つて外人の暫好に関ひ 上述可決し、次回認徳財職地を城 に就要を犯つて外人の暫好に関ひ 切がに見する歌説状と心然と問題を一を吐いてある水産が疑問では現に 時一十四日平前十時から午後 正時まで 45 所)第二曹連県校 物子紙、黒と鼠の無池、その他 物子紙、黒と鼠の無池、その他 物子紙、黒と鼠の無池、その他 の任他に背に似て 4 位地 「昨内在止者に似て 4 位地 「昨内在止者に以て 4 位地 危險のない河豚の燻製

とまっとい。単蛇便米を攻撃して「脚を蛇へて平北道各は行は高守を「異数を各地に現出してゐる水利組合地談さへ会部乾き切つて「九で船」と六分の一に過ぎず陸昭「川江や大原江の海地画はよで及ら水)の関係の東京の東京では、東に前、東部など落文を建せば、即に前、まで今打り館く西天で雨道なく、「四・三でこれを平平の陸な前に見、たらで皮膚は関作物に刃がしまった。」

各地の稲作被害を視察した

今村技手の歸任談

功勞表彰

次回總會は

所) 語はを代表して謝鮮を述べ、

成北西丁聯合首第一

説明して午後三時二十分即避した一れて市場にお自見得する語である

地帯として鼻痛々であった年北道 | まで二○・一、中旬の十六日まで

爆帶として勇竭々であつた年北道 | まで二○・一、申寅の十六日まで | げるといふ有機である、卑懇がも「無難辨」祭鮮雅一の早髪不光測 | ある、即ち今月の間はは七月上羽 | 先頭にして神祇に関密び弥跡を挙]

極樂ガら り物

【孤連】不幸、病魔のため人生の の強が感覚しこの世に贈る実花

病院で進去したが同比関係の遺迹 は大け河道のは、またけ河道の日内を町間日 ため不幸去る

盛大な移轉式擧行

たが正明奇馬(行馬として一般に 進出することになった、鐘粉では、ことになってゐる

以湖里安港岛、利加都撤建的

首内標準里で一味二十三名の疑問 独を機器したが中には租赁の有力 汇陵の學議補選

一、 正"

しい夏のお化料

清新なお化料祭えがします。

生じたのです一日邪悪選擇を施行ったため受組滞近に三名の態度を

阿吾地炭坑の爆發

尙正しい夏の化粧の 方泡を述べますと、まづ レート灯紅、口紅でしてれ丈でどんな暑い日の お飾の汚れを拭きとり、此の上をレート美容水で お拭きになり、次にお化粧下地にレートクレーム レートコ も崩れぬ永持ちのお化粧が出來上ります く様にして、下から上の方向に向つてつ んなくつけます。其上にレート粉白粉を ールド クレームで二三分のマツサージ、 お肌にピッタリつきます。仕上げは



化おいし凉

追氣に對する吸收調節成分が不完全だからです。 料が悪く、粒子が粗雑で肌への粉溶力がない事、 こう云ふ粗悪な白粉は一寸暑い日にはスケ崩れ、 て醜く、折角の身暗みも台なしになり

斑になつ

夏は必ず

お化粧崩れのするものと早合職なさつて

ん。白松が汗や脂に崩れ易いのは、原 粒子が粗雑で肌への物流力がない事、

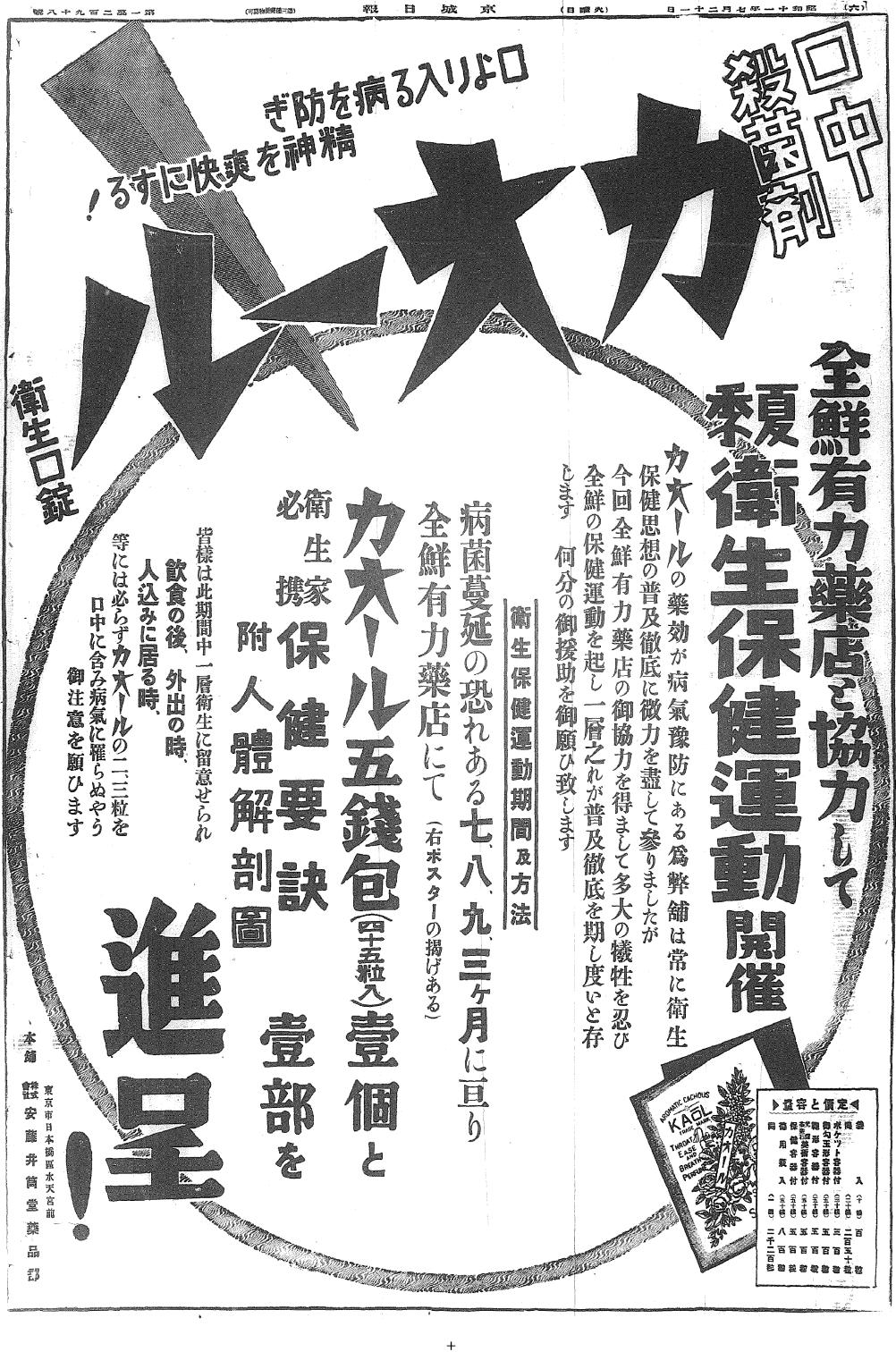
は大變なお損

理想的に配合された有効成分が汗・脂の分泌を吸 の理想的操作に依て精製されたもの故、その粒子 は柳度に微細につくられ、お肌にピツタリツキ、 レート自粉は霰跳された最高の原料を、現代科學 ぬれ崩に陽の夏

秀;

な

自犯 粉。



時は至く解説視されてゐたが十九

は京城のジカゴと

に摂食上非常に困難となり、一出城のシカゴといはれてゐるだ

廿日女、焼びの器質に囲まれ、

あることも判つて、これを聴破の不足は覆ふべからざるもので、際して吾々は西部宮城の藝館陣 うれしく思ひます。この事件にその責任の一端を果し得たとを

本と来る配指に肥油の側答を始り

自分の責任を痛感するとともにかくも哲さんに翻述窓をかけた

府内各署で一般人物語中

肥に専見も見窮虚

るへ響に乳母を乳粉・クルミ・乳牛 築炭水倉二第合配素酵ンミタビ種各 料加添蒸架工人るめ笹の家観門専

川松陽里至相俊(Fg)が首組とな

は風路器へ機嫌された、最近京城 の数千圓を擦上げてゐた一味が甘 が料理は建設性を舞器に非敗時間

春以米宮城黄金町一の一八一

初んでは爺があぶないと思じたか

學生洪水

部下とともに1円十餘日を 本智に がんばり逝した木村西大門署長は

その喜びを語る木村署長

造が目がトップリ暮れて家路へ工場へ通つてある多数の女工さ

を設御することになった、頼もし

廿名づり集めて彼女達の行き融りで行も平和です』と大喜ひである 青年職では毎日韓節の強い若者を一い青年達に護られて蝦逆はこ

動を試みたが、観行のあつた一帯

更迭 し背水の陣を布き出死の福

が加きは事件の最中司法主任を

署成打つて一丸となり犯人物重にでは「緊ਆの名器」にかけてと全

全力を傾注

殊に西大門

大門智能に龍山岩は勿論道刑事が 持つた三人組の帰盗について、西

帶を興び所民を脅かした別器を

町六四帰郊旬科三弘金撃援(ご)を一品

犯人の

一人である

一直もに指金単配をした

尿城東部青年團の腕利き

働く女性たちの往來を保護

兩名は分前

共犯の中の

|医犬門器の勢力で正雌を見せた。| 日と単松三四に亘つて京城の西部 | 左絡波器として概義してゐた弘潔。|三限をあらした||医犬門器の勢力で正雌を見せた。| 古る六月七日及び卅日脈に七月九 | の過齢を減みた結果、飲日前重大 | 迎及した結果、廿日午後にいたり

/捕はれ二人を追跡中

西大門署の血のにじむ苦心に凱歌

たつて强盗を働いたと自白したが 方田(ことの二名と組らひ三回にわ 村二龍金石台(三) 龍口前科一郎村

> 18 ら

の手で護る

心臓 を 尿・ 路

والإنجازية الإنجازية والإنجازية و

るもの

第一部:農山漁村振興運動に闘するもの

特色を各方面から發揮せよ

たいし文一般の人々は此の企てたいし文一般の大々は此の新十分を照した。 かったい かったい かんとう おったい かんしゅう かんしゃく かんしゅう かんしゃく かんしん いんしゃく かんしゃく かんしゃく かんしゃく かんしゃく かんしゃく かんしゃく かんしゃく かんしゃく かんしゃく

南山本瀬寺主催のサンマースク ルは二十六日から六日同年頭八時

夏期學校 南山本願寺

鹽田總督府文書課長談

0

鮮、明別、翌鮮等、現鮮の現代色をに設備し特に新興切鮮、開連朝に設備し特に新興切鮮、開連朝

を隠れず他面次第に脱れ行く朝と同時に一面置はしき詩の朝鮮」

躍進朝鮮や宣揚する

都進、明明の朝鮮の現狀を全般にわたりて、各方面から寫眞に 懸賞寫眞の意 **今井田政務總監を委員長に戴き** これを全國に向つて観要し、朝鮮に對する 路臓を正臓にするため、今回 約三千圓の賞を投す メラに収め、物神的にも物質的にも素明らしい過程向上を選択してゐる有標

委員長に載き大器官で制真を 田郷物器絵を 左の如く今井

同好者を翻断改して、我らの樹鮮を最も好く理解し窓識してカ 課題 **砂型するとになった、これには全朝鮮の温度**

繪葉書等に作製し欠は展覧會等に出降するに過す 特色を强調したる作品にして寫 この資金二千八百八十四、総監督、京日官を初め入選添の窓駅を誑るべき砒を殺国へはつきり知らせ、既に將来への大飛線に聞いようといふのである。 朝鮮のために!その總慧に成つた輝く鳥詞を洪水の如く逸られよ! その特典あり、カメラを手にする指一人鎧らず臍勢されよしわれ類の鎧する い中に臨時送付あれ、臍帯者は何人たるを問はず、思ふまゝに髪郷心を謎跡 る角度から、あらゆる部門からカメラにされよ!出来上つた眼鶥は、忘れなーケ年の長期であるが、この間、巻意秋冬それた~に輕る朝鮮の変をあらゆ 第三部 道路、橋梁、准勝等に闘するもの

産金其の他顕業に闘するもの 商工業に關するもの

第五部 水産に闘するもの



勢をねぎらふ

時午後二時から約二千名の將兵を

軍職の窮を蹴ふためサ六日年前九、七十三昧、その職場の中を単称に乗してゐる在城、健の第一回朝武部と爰城京城分館の三献確では 朝い独會 こ鉄、その中から左の三氏が

在城の兵隊を

【ベルリン十九日间盟】 オリンピ

女店 员人月。

京城永樂町本町雲祭治町入

血判の激勵文

ク村は相次いで到立する各國化

蹴球選手に

店员百名有国全

第(三個五〇 ナ曜点〇 全名 地 小地面写

質家

家郷山町上三番町三

女子 合計係採用高女卒業 合計係採用高女卒業

府民館で招待

府や赤十字や愛婦

る人場式行過減割も何んとなく輩 かり大野系分で棚箕削定つて始ま 数で且増に活況を呈し此態はすつ

光峰の軍隊的な行進が調け最色の

城府、赤十字社京城支部京城委

吞除此為

買び求め身内にあたる場所邸の前

府正館に依符的原は定の映画館を

●天 旭光 (北經六寸七分)●天 旭光 (北經六寸七分)●天 旭光 (北經六寸七分)●天 旭光 (北經六寸七分)

た强盗犯人

الموافقة المواقعة الم 日午後四時半西大門居に行き木村一で韓部龍に邢軍院を集めその勢を 男長路 ねぎらつた

人、印書です。 一七、入賞並に入選作品の原板 一七、入賞並に入選作品の原板 印畵の大さ及材料 縮切期日及宛先 て三部門以上の出品を買っこと 弾封着のこと 昭和十二年六月末日限り、 際影作品の版標は朝鮮器質

は其の裏面に第何部腫瘍作品たること、撮影地所

宗教並に社會事業に開するもの 教育に闘するもの 遞信事業に開するもの 事賣事業に**闘するもの** 警察及衛生に闘するもの 運動に闘するもの 風景及習俗に闘するもの 鐡道事業に闘するもの 古蹟、天然記念物に闘 印御の大さはカピネ型 等

神社

百

圓一名副買

第第第第第第 十十十十十 六五四三二一 部部部部部

十十十十十 六五四三二 部部部部部

查 員

朝鮮總督府文書課 **朝鮮總督府商工課** 朝鮮總督府殖產局長 政務總監 今井田淸德氏

本府鐵道局營業課長朝鮮總督府鐵道局長 賀田 直治氏 店 田 正洪氏 唯 作即氏 正共氏 佐 英 三 市 古 武 氏 氏

は 薬 進 呈券 は高側人用の方は此券を切つ は高側人用の方は此券を切つ

本町二 トウゴーカメラ京城支田 本町二 トウゴーカメラ京城支田 女 中 但し内地人一名帝国 富万曾町以 三阪車)こ、

中(日と内地人)と希望では親山八二五

製造元モンプラン製薬所

に健康を增進し皮膚がなるだけでなく根本的を内服させると色白く

女事 おけぶ米値心の変質して出二歳らの者に配る者料其の他面縁 市内側右側二分割料其の

年春

小児科・既化園

採用関歴背接帯本人

釀

西大門町二ノ一京中町や大門町二ノ一京中町

著しく若返ります。

店

初給拾組以上〇葛真技術教授・小成金の新聞書年・

政務總監

記念徽章及冥狀附(合計四十八名以三等 拾 圓 三名 副實 京城日報賞記念徽章及賞狀附(合計十六名以內) 配念徽章及貢狀附(合計十六名以內 記念徽章及賞狀

日本樂器の

てのまゝ南山に揺たとを自白した



後の大興町四〇一前科一犯金金米田、金の兩批事が南山麓で撃動不 大會の接近と共に日本選手の合循 御取、南山であけたところ、 京城縣待合船で瀬洲四に向ふ同居 ("こを加へた、金は同日午到三時 から南洲回建國功劳章その他動意 務門長浦美八郎氏のトランク 日午前六時半頃夏城本町名の訳 として注目の的となつて居る、 LIM

一番大名側に支付を引きます。 一番大名のでは、 一本では、 東京製剤が設定でである。

すてた男

2. 紫梁津龍風亭跡 松林住宅地 1川〇〇甲 思露學校跡住宅地 八五〇年

明水臺河淵住宅地

特別衆の

大猫、神風一般家道疾病の東京というとは大魔師に対する。一世大魔師に対する。他の家道が明明の東京を記述的の東京を記述的の東京を表示という。 恩

胸口

四部首 指尿板

野 文 タイプライター科 文 タイプライター教を開せず 規則呈 の撃力ある者なる情はず 規則呈

+

最も一間を亢出させたのは破職す

を版はすのは故遠からのたよりや の配押があり一同窓版して居る 激励指報である、そのうち

勳章を盗み

日本樂器會社出張所

西井市 郎商京城府水渠町一丁目 番店

日午後三時二十分より京城皆松 福岡電話】 質素級門野城九州事 京城圏製製丸の何思決時職は一 時れ一時景り景し **兄城醫專優勝** 九州発選で

作政権で後上げてゐる事を細 を中心に各料理量を舞踏として り担保数名と共に肝内黄金町雅叙

持ち込んで緊ਆ的は大磁器、午後一千五百名の闘者製生があるので

休みでどつと列車客寄す

九時から十時にかけて京蛮、京選一各脚架列車

|関日はなほー||軽||

管具会と各部門毎に左記賞金及賞品類

第六部

寢本順 博士創製 皮膚が若返る 色が白くなり

婦人を悩ます色黒や、シミ、リバカスは皆、皮下の色素メラニンの次 では絶對に白くならないのです、摩本博士は 解作用と造血作用を併 解作用と造血作用を併 解作用と造血作用を併 がるです、摩本博士は かるできるとので、 かるでは絶対に白くならな かるとを愛見してこれ かるとを愛見してこれ かるとなる。 ◆ ★ ◆ 事務員身元職實にして年齢三十歳以上の方市内に運費なる保護人成名元更方市内に運費 ※京日案內 (11世紀) は井崎院

足群期線

七月十八日 相野 代理店 朝鮮建茂支店

国際連続支店 国際国際では近日

嶋谷汽船株式會社

西路事出榜,外難召,寇田、商舍

九日橋 第184 左記 個別會被下度檢 第118第 二種構 第118第 二種語 九州郵船館出張所 九州郵船館出張所

服は終日のいれを良くす

能明書進星 東京·宝町 三共株式官社

清爽な絹紗

度れた

大夫な